



Kodoen x SDGs SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



特集：光道園 SDGs レポート ～わたしたちの SDGs アクション～

CONTENTS

表紙 光道園SDGsレポート	P1
新年のご挨拶	P2
特集 わたしたちのSDGs ACTION	P3~5
もぐもぐ通信vol.10 心とカラダの知恵袋vol.10	P6
光トピ 『シマジコーヒー』 ひかり会 新会長挨拶	P7
オリモビ通信vol.5／編集後記	P8



2021
迎

年頭で挨拶

春

社会福祉法人光道園 理事長 荒木 博文

初春を迎え、お慶び申し上げますとともに、本年も引き続きご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

また、新型コロナ感染予防対策にはご協力いただき、感謝申し上げます。今後も状況に応じた予防策を講じてまいります。

さて、本年は光道園にとりまして、組織強化の年といたしたいと思います。社会福祉法の改正により、社会福祉法人は大きく様変わりをしました。まず、理事会、評議員会の役割が大きく変わり、理事長のみが代表権を持つようになり、責任もさらに増しました。職務代理者がすべてを行うのではなく、職責に応じた稟議体制も組むこととなりました。さらには、昨年度から、経過措置はあるものの、特定社会福祉法人となり、会計監査人も必置となりました。

以上、大きく変わった環境の中で、いかに組織を強化するかが喫緊の課題となりました。まず、本部機能の強化を行います。本部において人事、労務、財務等の一元管理と、各障がい、高齢中長期構想検討委員会とリンクし、将来設計の素案作りを行います。また、各種規定等整備することはもちろんのこと、しっかりと遵守されているか、内

容の変更の必要性はないか、絶えず見直しとチェックをかけ、組織のガバナンス強化を図ります。さらに、稟議規定に基づき、電子決裁により理事長までの決裁を、スピードをもって行い、事務省力化、ペーパーレスを図ります。

経営については、数字に囚われることなく、徹底した利用者本位を貫き、高品位のサービスを提供し、利用者の方たちに満足していただくこそが経営安定の根本だと考えます。「自立支援」、「意思決定支援」を制度的にも成果、結果を求められる中、先駆的に実践してきた光道園にとって新たな段階に入ったと思います。具体的には、臨床心理士による利用者の方への聞き取りと職員へのフィードバックで支援に生かし、本年から東京大学、国際医療福祉大学と協働し、障がい者支援施設における自立支援基本ケアデータを分析し、支援に生かす取り組みも始めました。

利用者の方たち、そのご家族のニーズの変化や制度、支援方法の多様化に対応しつつ、利用者の方たちの望まれる生活、生きがいを支援し、職員個々も働き甲斐をもって働けるよう、環境整備に努めます。また、地域に必要とされる取り組みや事業にも挑戦したいと思います。



桃の節句に

女の子様の健やかな成長を願って

3 すべての人に健康と幸せを
11 住み続けられるまちづくりを

ひとつひとつに心を込めて...

絵付け皿
～ひな～
1000円(税込み)
※台座付き

輪挿し
～満開～
1000円(税込み)

陶華星では越前焼の魅力を発信すると共に、お使いいただいている方のご様子を思い浮かべながら、一つひとつ心を込めて製作しております。当事業所での直売の他、道の駅 西山公園様、越前陶芸村様など県内6カ所でも販売いたしております。お近くにお越しの際は、ぜひお手にとってご覧下さいませ。

【お問い合わせ】
ライトワークセンター／陶華星
TEL 0778-62-8103
FAX 0778-62-3775

光道園
KODOEN
社会福祉法人

※大変人気商品となっております。
お買い求めの際は早めにお早め。



光道園SDGs レポート

～わたしたちのSDGs アクション～



光道園SDGs宣言から1年。

この1年のSDGs推進への取り組みについて、日々の記録と共に報告します。



こうどうえん福祉学習体験プログラム(2021)を発刊しました！

光道園SDGs宣言では、「福祉体験学習」の取り組みについて、次世代育成の観点から、「障がい、高齢に対しての理解を進め、誰もが住み続けられるまちづくりを目指す」ことを目標達成に掲げ、取り組みを進めています。子どもたち自身がSDGsについて考え、貢献を実感できるのが、こうどうえん福祉学習体験プログラムの最大の魅力です。



6つの点に思いを込める～点字を勉強しました！～

鯖江市吉川小学校のクラブの時間にて、光道園が担当する「やさしい福祉体験クラブ」にいつてきました。

初回の体験では、「点字」に取り組んでももらいました。今年から新たに作成したオリジナルのテキストを使いながら、体験を進めました。少しでも点字をやさしく伝えたいと思って作成しましたが、生徒さんたちには、「やさしい点字」に感じてもらえたでしょうか？

のぞみ焼販売会を行ないました。～エシカル消費への啓発～

光道園ライトワークセンターでは、「のぞみ焼」という越前焼の陶芸品を製作、販売しています。毎年5月に開催される「えちぜん陶芸まつり」に、出展・販売させてもらっていますが、コロナ禍により中止となっていました。5/29(土)・30(日)の2日間、のぞみ焼製品の展示・販売会を開催させて頂きました。光道園の利用者の方の製作した陶器に触れ、知ってもらうことで、SDGsともかわりの深いエシカル消費の啓発につながります。

2日間で、100名近くのお客様にお越しいただきました。本当にありがとうございました!!



楽しさを共感する ～フライングディスク体験～

6月、やさしい福祉体験クラブでは、障がい者スポーツ「フライングディスク」を行ないました。

「みんなが楽しめる」ためにどんな工夫が必要か、それがSDGsゴール達成のためのアイデアであり、生徒の皆さん自身で、一人ひとりが考えることが、「誰一人取り残さない」取り組みへの第一歩だと思っています。

体験はヒントであり、答えは自分たちでどう実践していくか。

光道園は、次世代を担う子どもたちと一緒に、ヒントをもらいながら、SDGsの取り組みを進めていきたいと思ひます。



6月



光道園のチカラを“おふくわけ”

光道園では、SDGsの取組を推進するため、6月8日～15日まで法人職員に声をかけ『フードドライブ』を行ないました。

各事業所より、お米やインスタント食品など、計98品の食品が集まりました。集まった食品は、鯖江市のフードドライブ「おふくわけ」にお届けしました。私たちのSDGsの取り組みは、光道園がこれまで取り組んできた『ふくしのチカラ』が、SDGsの理念に共通することをベースにしています。今回のフードドライブは、新たな取り組みです。培ってきた力に加え、職員一同の『光道園のチカラ』を加え実践することで、SDGsの取組を推進していきます。



7月

可能性を見る眼の成長を後押し～のぞみ焼製作体験～

7月、やさしい福祉体験クラブでは、光道園ライトワークセンターの陶芸品「のぞみ焼」の製作体験を行ないました。

「福祉体験なのに、何で陶芸品つくるのかな？って思ったんやけど、障がいのある人たちでも、この陶芸を作ってるってことが、大事ってことなんじゃないかな・・・」これは生徒さんの言葉です。

私たちは、体験を通じて、一人ひとりの「可能性」を見る眼を養っていきたいと思っています。陶芸品作りと福祉体験、つながりが見えないように思いますが、生徒さんが答えを導き出したように「障がいがある人でもできることがたくさんある！」ことを知ってもらいたく、この体験を行ないました。生徒さんたちが、それぞれに感じたことは、必ず、持続可能な将来につながるはずです。



みんなで知ろう！食品ロスについて

光が丘ワークセンターにて、SDGs「食品ロス」への理解を深めるため、利用者の方、職員が勉強会を行ないました。

テーマは、「食べ物を大切にしよう」

1日に必要な野菜の摂取量について、施設で実際に提供している給食メニューで分かりやすく説明を行ないました。利用者の方からは、食品ロスを意識したコメントもありました。このように勉強会を通じて理解すること、毎日の食事を残さず食べることが、フードロス、SDGsの取り組み、未来へと繋がっていることを全員で共有できる時間となりました。



8月

生活に馴染む私たちのSDGsの取組み ～マイボトル運動推進サポーターに登録しました！～

福井県のマイボトル運動の取組みに賛同し、マイボトル運動推進サポーターに登録しました！光道園では、マイボトル・タンブラー持参での光景が日常として見られています。

光道園SDGs宣言にある「継続」は、光道園の普段の生活の「継続」です。SDGsを意識しなくても、私たちにできることがたくさんあり、日常生活で既に取り組んでいることが、SDGsと深く関連付けられています。普段の何気ない行動が、サステナブル(持続可能)な取り組みにつながっています。





手話ではじまる会話のキャッチボール

9月、やさしい福祉体験クラブの体験では、「オンライン手話体験」を行ないました。

対面以上に、オンラインの場合は大きなジェスチャーや反応が必要です。最初は慣れないようでしたが、徐々に大きなジェスチャーで反応を返してくれるようになりました。今回で前期のクラブは終了となり、最後に「修了証」と「修了メダル」(ライトワークセンターで制作した陶器のメダルです)を贈りました。

クラブでの経験を友人や家族に伝えてもらうことで、福祉への理解が広がり、それが「誰もが住み続けられるまちづくり」の目標達成につながります。SDGs達成のための頼もしい仲間が増えました！



これからの持続可能性を担う子どもたちへ

10月に入り、福祉体験についてご依頼をいただき、たくさんの学校に訪問しました。

学校教育の中でも、SDGsに理解が深まる中、福祉体験を通じてその実践を体験してもらうことが、光道園SDGs宣言にある「福祉の眼(芽)を育てる」役割だと思っています。

2030年までには、たくさんの可能性のある子どもたちの「眼」と「芽」を育くみ、達成に向けた多くの仲間を増やしていきたいと思ひます。



知ることにつながる、光道園とSDGs

豊地区ミニ文化祭に、ライトワークセンターの陶芸品を出展させていただきました。

ライトワークセンターの利用者の方が制作する「のぞみ焼(陶芸品)」をたくさんの方に知ってもらうこと、それが、SDGsゴール「つくる責任 つかう責任」と親和性のあるエシカルな消費へとつながります。

豊地区の皆様、お声かけありがとうございました。

“いつでも、どこへでも”を実現するために～同行援護従業者養成研修を開催しました～

光道園では、平成24(2012)より同行援護従業者養成研修を開催しています。同行援護とは、視覚障がいのある方が外出する際、移動の支援など必要な援助を適切かつ効果的に行います。また、外出先での情報提供や代読・代筆などの役割も担う、視覚障がいのある方の社会参加や地域生活において無くてはならないサービスです。

同行援護に携わる方が増えていくことは、いつでも、どこへでも外出が進むことで地域とのつながりが進むなど、SDGs目標の「住み続けられるまちづくり」へとつながります。

研修を修了された方が、この後、視覚障がい者の外出に対して積極的にかかわっていくことで、持続可能なまちづくりの担い手の一員となること、また、多くの方がまちに出る、人とかかわることが、多様性の理解や地域共生へとつながると信じています。



これまでも、これからも福祉の力を還元しながら、住み続けられるまちづくりに貢献し、わたしたち自身も持続可能な成長を進めていきます。

Road to Sustainable



もぐもぐ通信

冬の寒さに耐え、甘みを増した野菜が美味しい季節となりました。季節の変化同様、食卓でも「変化」を楽しみ、料理の魅力を感じていただけたと思います。もし、ご家庭で残った料理が違う料理に代わったら…。今回は家庭によくある「残り物」のリメイクメニューをご紹介します。

監修

第三光が丘ハウス
管理栄養士 角谷 朋香



おすすめレシピ①

煮物 DE グラタン

- ①大きめの耐熱ボウルにバターを入れ、ラップをして、600Wの電子レンジで20秒程加熱し、バターを溶かす。
- ②バターが溶けたら、薄力粉、コンソメ、塩コショウを加えよく混ぜる。
- ③②に牛乳を少量ずつ加えながら、泡だて器で混ぜ合わせる。
- ④③にラップをして600Wの電子レンジで2分加熱し、泡だて器で混ぜ合わせてから、再度600Wで2分加熱する。
- ⑤煮物を食べやすい大きさにカットし、グラタン皿に盛り付け、④をかけ、チーズをのせる。
- ⑥230℃に余熱したオーブンで12分焼く。

〈材料2人分〉

- 残り物の煮物…適量
- 薄力粉…30g
- バター…30g
- 牛乳…300ml
- コンソメ…小さじ1
- 塩コショウ…少々
- チーズ…適量

●煮物DEグラタン



おすすめレシピ②

シチュー DE ちゃんぽん麺

- ①シチューに水、しょうが、にんにく、ごま油、鶏ガラスープの素、オイスターソースを入れて混ぜ、ひと煮立ちさせ、塩コショウで味を整える。
- ②ゆでた中華麺を入れてさらにひと煮立ちさせる。

〈材料2人分〉

- クリームシチューお玉…6杯
- 水…600ml
- おろししょうが…小さじ1
- おろしにんにく…小さじ1
- ごま油…小さじ2
- 鶏ガラスープの素…小さじ2
- オイスターソース…小さじ2
- 塩コショウ…適量
- 中華麺…2玉

●シチュー DEちゃんぽん麺



kitchen point

お好みで白菜やシーフードを加えても美味しく召し上がれます。



回数:20秒×3回

②背中のストレッチ
方法:背中の筋肉が伸びるように意識してしゃがみ、体を前屈させましょう。



回数:20秒×3回

①腰とお尻のストレッチ
方法:背中・腰の筋肉が伸びるように意識して、足を抱えましょう。



終了姿勢

回数:20秒×3回



開始姿勢

③股関節の付け根のストレッチ
方法:伸ばした方の足を後ろにやり、太ももの前面を伸ばすように行いましょう(体重は前の方にかける)。

寒さや、雪かきなどで腰は痛くないでしょうか？
今回は「腰痛を予防するストレッチ」を3つ、紹介したいと思います。



心とカラダの
知恵袋
Vol.10

監修 光が丘ワークセンター
理学療法士 乾 佳輝



注意点

- 腰に対して何らかの既往がある方、この体操をして痛みが出る方は、無理せずストレッチを中止してください。
- 息を止めずに行ってください。



光トピ

♪ こだわり詰まった



ようになっただきつかけとして、「身内が光道園で働いており、フ・クレールのクッキーを食べたことがあった。フ・クレールの商品を、うちの店でも使えると良いと思った。」と話されていました。フ・クレールとシマジコーヒーさんで何度も打ち合わせをして、試行錯誤しながら完成させた、こだわりのききなこサブレットと全粒粉サブレット。

きなこサブレットは、知り合いが作っている大豆を店主自らが炒り、粉にして作っています。収穫してから1年以内のコーヒー豆で、豆自体の鮮度にもこだわっているとか！

フ・クレールの商品は、添加物などを極力使っていないため原材料名が少なく、お客様も安心して購入していただいています。「対面で話をしながら、責任を持って販売をしたい。」という、お二人の焙煎した美味しいコーヒーと相性抜群のフ・クレールのサブレットを是非、御賞味下さい。

シマジコーヒーさんのように、フ・クレールの商品を使っていたことが、光道園SDGsの取組み、ゴール12の達成につながるエシカルな取組みに繋がっています。

今後、地域の皆さんに愛される商品を作り続けながら、エシカルな輪を広げていきたいと思えます。

鯖江市のシマジコーヒーに、フ・クレールの商品が置いてあることをご存じでしょうか？

フ・クレールの商品を置く

写真・文・吉田美里(事務局)



シマジコーヒー:住所/福井県鯖江市有定町3-8-21 電話/0778-52-6033 営業時間/9:00~19:00 定休日/日曜日

ひかり会会長 就任のご挨拶

新会長 棟田 隆文

この度、藤本清光前会長から引き継ぎ就任しました、棟田隆文と申します。

光道園にお世話になってまだそう日が長くなく、また役員での経験も浅い中、今後務めていくことに戸惑いもありますが、役員各位ならびに事務局スタッフのご指導、ご支援、ご協力を賜りながら出来る限り務めてまいりる所存でございますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

コロナ禍で地域ではクラスターが発生している事業所もある中、光道園の職員スタッフの方々やそのご家族の方々にも感染防止にご尽力いただいております、大事に至っていないことに大変感謝するとともにお礼申し上げます。

さて、光道園は1957年(昭和32年)にスタートして60年を超える歴史があり、先駆

者的役割を担っている施設であり、現在では400名弱の方々が入所されている大所帯となっていて「一人ひとりの可能性を信じる」を大切にしたいと歩んでこられました。

ひかり会としても先輩方の築いてこられた伝統を守りながら世間の状況の変化にも順応できるようにどのように関わっていかれるか会員の皆様と共に考えて少しでもお役にたてたら良いと思えます。

コロナ禍で何かとイベントをはじめ行動も制限されていて総会も2年続けて書面決議となっており、まだ先の見えない中ではありますが早く終息して、来年度には総会が無事開催され、多くの会員の皆様にご出席していただきご意見・ご要望を寄せていただくと共に、親睦を深めていただけることを願っております。

ひかり会(家族会)について

ひかり会は、障がい者施設の入居者の家族会として発足し、入居者の生活向上と光道園の健全な発展に努めると共に、会員相互の親睦を深めるために活動しています。





オリモビ通信

vol.5

音響式信号機

交差点や横断歩道を音でガイド!!

- 3 すべての人に健康と福祉を
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 17 パートナースHIPで目標を達成しよう

音響式信号機とは？

交差点や横断歩道を歩いている時、音が鳴る信号機『音響式信号機』を見かけられたり、その音を耳にされたことがあると思います。

音響式信号機とは、視覚に障がいがある方へ信号が青になったことを知らせるため、誘導音を出す装置がついている信号機のことです。

全国に約2万箇所

警察庁によると、音響式信号機は2020年3月末の時点で全国に計2万301基（メロディー式394基・擬音式1万9,907基）が設置されており、約98%が擬音式となっています。

二種類の音

音響式信号機には「とおりゃんせ」や「故郷の空」等の音楽が流れる『メロディー式』と、「ピヨピヨ」「カッコー」等の音が流れる



『擬音式』の二種類があります。地域によっては特色のあるメロディーが採用されているものもあります。

- 静岡県「ふじのやま」
- 青森県「乙女の祈り」
- 横浜市「赤い靴」
- 名古屋市「おっま」

「ピヨピヨ」と「カッコー」の違いは？

南北方向、もしくは交通量の多い幅の広い道路（主

要道路）は「カッコー」、東西方向、もしくは交通量の少ない幅の狭い道路は『ピヨピヨ』の音で、青信号（横断歩道をわたるタイミング）をお伝えしています。

街中で…

白杖や盲導犬を使って歩いている方でも、助けを求めておられる場合もあります。もし、皆さんが街中で視障がい者の方がお一人で歩いておられるのを見かけられたら、「何かお手伝いすることはありませんか？」と優しく声をかけていただいたり、信号が青になったことを伝えていただけるとうれしいです。



写真・文：山崎昌之（事務局）

編集後記

第4回SDGsに関する生活調査（2021年4月）によると、SDGs認知率は54.2%で、2020年3月の前回調査からほぼ倍増。10代のSDGs認知率は7割超えという結果が出ています。

サステイナブルという言葉に耳にする機会が増えていく中、その商品や取組みの価値基準の高まりにもつながる一方、サステイナブルという言葉だけが一人歩きしないこと、実態を伴った取組みであることが2030年につながっていることを見失ってはいけません。今号の特集は、光道園SDGs宣言を特集した絆の杜57号のアンサーとして、この1年のSDGsの取り組み成果を掲載しました。

今年の干支の「壬寅（みずのえとら）」には、「新しく立ち上がること」や「生まれたものが成長すること」という意味を持っていると言われています。「壬寅」のよう、光道園SDGs宣言は、新たな取組みとの出会い（新しく立ち上がること）、取組みが持続可能なものとして成長し続けること（生まれたものが成長すること）を目標に、職員一丸となり、取組みを進めていきます。

社会福祉法人 光道園

<https://www.kodoen.or.jp/>

- 社会福祉法人 光道園 法人本部
鯖江市和田町9-1-1
- 障害者支援施設 ライトワークセンター
鯖江市和田町9-1-1
- 障害者支援施設 ライトトレーニングセンター
鯖江市和田町9-1-1
- 日中生活介護事業 たねのいえ
鯖江市和田町9-1-1
- 相談支援センター こうどうえん
鯖江市和田町9-1-1
- 社会福祉法人 光道園 朝日事業所
丹生郡越前町朝日22-7-1
- 養護老人ホーム 第一光が丘ハウス
丹生郡越前町朝日22-7-1
- 養護(盲)老人ホーム 第二光が丘ハウス
丹生郡越前町朝日22-7-1

- 特別養護老人ホーム 第三光が丘ハウス
丹生郡越前町朝日22-7-1
- 通所介護事業所 デイサービスセンターさざんかホール
丹生郡越前町朝日22-7-1
- 訪問介護事業所 ヘルパーステーションさざんか
丹生郡越前町朝日22-7-1
- 在宅介護支援センター さざんかホール
丹生郡越前町朝日22-7-1
- 居宅介護支援事業所 さざんかホール
丹生郡越前町朝日22-7-1
- 障害者支援施設 光が丘ワークセンター
丹生郡越前町朝日22-2-2
- 障害者支援施設 ライトホープセンター
丹生郡越前町朝日22-3-1
- こども支援センター えがお
丹生郡越前町朝日1-201

- 越前町相談支援センター さざんか
丹生郡越前町朝日1-201
- 就労支援事業所 フ・クレール
丹生郡越前町朝日1-504
- 共同生活援助事業所 とらいと
丹生郡越前町朝日1-505
- 共同生活援助事業所 みらいと
丹生郡越前町朝日1-218

光道園 検索



Facebook ホームページ インスタグラム